

呆痴 か 龍 屋 新聞

旧名
地方龍屋新聞

所在
千葉県鴨師

陣容
専任 ナシ
片岡 ひとり
社是
ナシ
努力目標
ナシ

TEL 04709 (2) 9912

JR横浜駅西口に

竹で内装したレストラン

〔横浜発一ドミタ電〕
JR横浜駅西口に和食レストラン「カツ丼」が昨年十月にオープンした。ココノツイドと読む。この店、味もいいが、内装が、いいのヒョーベン高く、見学者が押すな押すなであととたたないなかでモチモチとひぐり返して並べたような肉化ゆりとか、シユロ皮ですか

した壁面とか……使われている何十本の竹がどれも曲がり、ひねっている。まっすぐなのが竹ではなかったのか。制作者の根性かそのまますぐやわわっている。だから、誰なのか、肉もろした。本気で店を訴ねたい人は愛護を店にかけて道順を聞いた方がいい。四五(ハ五一)六一二一(たはし)これは大船の本店。

キケンな男が!!

名古屋芸大で

〔名古屋発一ドミタ電〕

十二月初め、名古屋芸術大学デザイン科に

TEL 04709 (2) 9912	送料は時価 著者は元平島県民
ご本のご用命は	ボニ江房へ
トカラ諸島資料集出版	
「トカラの地名と民俗」上、下	合わせて ¥4000
「トカラの伝承」	¥500
「平島有線放送速記録I」	¥1000
「臥蛇島金銭入出帳」	2品印札
「臥蛇島部落規定」	¥2000
ほかにもあったけどいまはみん	絶版
「平島有線放送速記録II」	近刊

「めたしや、デザインを考えてからモノを作ったことが無いのです。材料を手にして、ぐねぐねで、何がエロかを考えるのです。」
H講師は黙って、いや、学生は、メロウ顔。一つの肉にかきと見せた岡本某氏が、かたわらで、

中年の男が現われた。同科のH講師がたい気持で、呼んでは関東の竹細工師であった。十数人の在学生と前にして男は喋り出した。

「それ、いいのよ、それ。」
という表情をしていた。
男は、いかに長にぼそぼそと何やら口にしていったのだが、本当は「デザイン」の字も頭になかった。学生えん、変な男に思った。
〔名古屋発一ドミタ電〕
仕切り屋とは、ゴミの山と宝の山との区分の無い人のいいである。つけ加えれば、H氏も同業の師である。



